

予算に対する討論の概要

令和2年度予算（一般会計、3特別会計および公共下水道事業）に対し、6名の議員が各会派を代表して討論を行いました。その概要は次のとおりです。

会計名	令和2年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	比較	対前年度伸率
一般会計	45,894,000	43,829,000	2,065,000	4.7%
特別会計	22,885,932	22,199,261	686,671	3.1%
国民健康保険事業	11,932,785	12,155,860	△223,075	△ 1.8%
介護保険事業	9,075,244	8,376,139	699,105	8.3%
後期高齢者医療事業	1,877,903	1,667,262	210,641	12.6%
企業会計	4,843,372	5,057,713	△214,341	△ 4.2%
公共下水道事業				
合計	73,623,304	71,085,974	2,537,330	3.6%

(金額の単位は千円)

政進会

○全ての会計予算に賛成

▽4年連続の過去最高となる積極的な予算案が提案されました。施政方針の中で「プライマリーバランスの重要性は重々認識した上で、この数年間は、将来への備えを万全に構築するために積極的な財政投資が必要」という点は会派としても賛成の立場です。▽公共施設の使用料などの受益者負担は高齢者などの適用範囲を見極めて検討することを望みます。▽新まちづくり基金などからの繰り入れが増加していますが、一定の基金残高は確保されていると考えます。今後も基金、市債のバランスに留意し、戦略的かつ中長期的な視点から民間投資を引き寄せ、人と企業が集まる、みんなが笑顔になれる事業への活用を期待します。▽燃やせるごみの減量化を目的とした家庭系ごみの一部有料化および戸別収集の導入により、ごみの搬入量は減少しています。また、附帯決議の12項目も着実に進展しており、今後も本制度の安定的な運用とごみ減量化の推進を要望します。

▽公立保育園のあり方では、近い将来に保育需要の減少が想定されていますので、基本的な考えは賛同しますが、勝瀬保育園を民営化する時期は慎重に検討するよう要望します。▽医師、歯科医師など専門職によるえびな在宅医療相談室の推進、オーラルフレイル事業の拡充は健康寿命の延伸につながりますので、高齢者が地域で自分らしく生活を続けられる事業の充実を期待します。▽本定例会で議決した新たな総合計画えびな未来創造プラン2020は、新たな海老名市を築いていく指針となるべく、これまでの形式にとらわれない、新しい計画となっています。今後の本市を取り巻く課題や社会経済情勢の変化に柔軟に対応することを期待します。



公明党

○全ての会計予算に賛成

▽市民の命を守り、安全で安心して暮らせるまちづくり事業として、多種多様な災害に対応するための予算が編成されました。風水害発生時に効果的な水難救助用ボートや、化学テロなどの際に化学物質の検知が可能な検知警報器が整備され、避難所の環境改善のためエアーマットや段ボールハウスが追加されます。現在リコーの屋上100坪の位置に防災カメラが設置されており、当初は市域の7割を確認できましたがタワーマンションなどの建設により、見え範囲が狭くなつてくると思いますので検証していただき多方面からの取り組みを要望します。▽子育て支援事業として、義務教育における保護者負担軽減の視点を含めた修学旅行のあり方や、おいしい魅力ある給食の提供体制の整備の方向性が決定されています。保護者への丁寧な説明などを実施していただき、幸せを育む教育のまちとしての取り組みを期待します。▽3年目になる子どもセンターを拠点に妊娠・出産・子育て・学校教育までの一貫したサポートの充実を要望します。▽障がい者、高齢者の福祉事業として、誰もが生き生き暮らせるように、移動弱者のための交通手段の確保と就労の拡大により、共生社会の実現に向けたソフト・ハード両面からのバリアフリー化の取り組みの充実を望みます。▽新型コロナウイルス感染拡大により地域に根ざす中小企業、個人事業主の方々、市民生活に影響が出ていますので、社会情勢の変化に対し地域経済活性化の下支えにぎわい創出、市民生活を守るために迅速かつ効果的な施策を要望します。▽市制施行50周年に向けて新たな発見ができるまちをめざし「住みたい 住み続けたい まち 海老名」として市民に寄り添った施策を期待します。



水難救助用ボート(イメージ)